

向日市立勝山中学校 理科部新聞

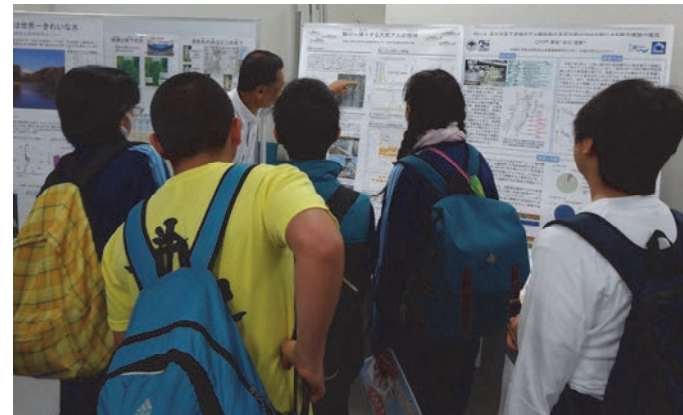
平成28年11月4日
金曜日 発行

京都大学宇治キャンパス 公開2016に参加する

10月22日(土)理科部は、宇治市にある京都大学宇治キャンパス公開2016に参加してきました。大学の研究内容やキャンパスの一端を知った、科学に興味を持つ



宇治キャンパスは、甲子園球場が約16個分あり、「広かった」と感想を漏らしていました。日頃は見ることもできない研究施設を見学したり、大学の先生に質問をすることができたりしたので大変有意義なものとなりました。上の写真は、宇治キャンパスの入り口の写真です。右奥にはコンピニオもありました。



竹門先生は、「いい質問ですね」といいながら答えてくれました。海水、淡水については、大阪湾の鮎は淡水でも生きるが、琵琶湖の鮎は海水では生きられない。産卵時期も異なる。種が異なるくらいに違いがある。なぜ上流にいくのかについては、本当のことは鮎に聞かないとわからないが、川の上流はきれいな水が流れていて、沢山の藻が生えているからと答えてくれました。

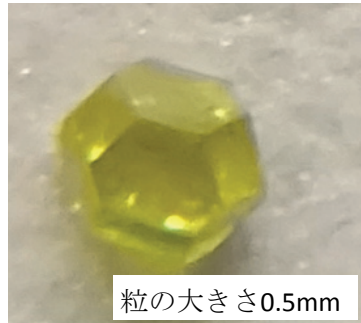
本当のことは、鮎に聞かないとわからない 京都大学防災研究所にて

京都大学防災研究所水資源研究センター教授竹門先生のお話を伺いました。そのお話を伺った後、疑問に感じたことをいくつか質問しました。

- 一、鮎は、淡水でも海水でも生きられるのか？
- 二、琵琶湖の鮎を海水に入れると、どうなるのか？
- 三、なぜ、上流に行くのか？
- 四、鮎にも、縄張りを持つ鮎と、四条鴨川でも見られるような群れになって泳ぐ鮎がいる。



それはもともと決まっているのか？



高層気象を観測するラジオゾンデ(気球)があり、みんなで引っ張っておろしてみました。紐で固定されていましたが、25km上空まで上昇して、気温、湿度等を観測し、豪雨の予測の研究に役立っています。左は、「人工ダイヤモンド

